

# 2013年度「目指せ！エネルギーの地産地消 連続講座」

2013年度 1年間を通して実施してきた「目指せ！エネルギーの地産地消 連続講座」5回が終了しました。この連続講座の最終会として第6回「環境フェスティバル2013(3月2日)」を残して無事に終えることができました。なお、「環境フェスティバル2013」のステージ(13時15分～)では、この連続講座の報告発表などを行ないますので、ぜひご開場に足をお運びください。

ここに、各回の講師の方や内容・感想などのご紹介をさせていただきます。

## 第1回 7月18日「私たちのエネルギーの現状とこれから」



講師：馬場 裕氏 (省エネルギー普及指導員)

将来の発電を原子力発電に頼ってきた私たちの「電気」ですが、3.11を契機に、多方面への関心がとても高まっています。講座では、いろいろな再生可能エネルギーを知り、原子力発電以外のエネルギーシフトの可能性を学びました。

また、同時に私たちの電気の使い方、つまりは節電の重要性を改めて考えさせられました。

(参加者：23名)

## 第2回 9月19日「太陽光発電を知る」



講師：岩田 芳雄氏 (環境ネット会員)

太陽のエネルギーを使って生活することって、とても素敵です。でも一体全体、太陽光発電ってどんなものなのだろうか。

太陽光を電気に変える基本的な仕組みから、一般的には太陽光パネルと言われるが種類の違いなど技術的な側面と、助成金・補助金など拡大するメリットの話など、いろいろなことを教えてもらいました。

(参加者：18名)

## 第3回 10月18日「夢じゃない！MYエネルギー」見学ツアー



昨年できた市民発電所・吉川つばさ保育園では太陽光発電の利用や園児の発電量の観察の様子などを伺いました。また中川循環センターの小水力発電所を見学しました。

身近なところで、自然エネルギーが使われていることは喜ばしく、また、市民発電は、私たちの意思が反映できるよい仕組みだと思いました。

(参加者：27名)

第4回 11月21日「一緒に太陽光発電を作ろう」



講師：桜井 薫氏（ソーラーネット代表）

かなりデリケートな受光セルをハンダでたくさん繋げながら、参加者全員で力を合わせ、3枚の太陽光パネルを制作しました。蓄電池と合わせて使えば、安定した電気として家庭でも使えるものが出来ました。

とても時間もかかり大変でしたが、自分たちで作り上げた充実感を得ることができました。



<参加者の感想>

生まれて初めて持つ半田ゴテにドキドキしながら、自分の手で作ることが出来て、大変有意義な時間を送ることが出来ました。

(参加者：32名)

第5回 1月22日「市民発電所をつくろう」 ワークショップ



市民発電所をどうしたら作ることできるのかをワークショップ形式で話し合いました。

- ・吉川市では太陽光発電がよいだろう
  - ・市民の関心と理解を深めるために学習の場を
  - ・イメージキャラクターがあるとよい
  - ・資金の集め方を考える
  - ・場所を決める
  - ・プロジェクトチームが必要
  - ・市民にできることを実現していきたい
- など、たくさんのご意見で盛り上がりました。

(参加者：42名)

**この1年間、講座に参加された皆様・講師・関係者の皆様、ありがとうございました。**